

山田発 大震災から4年3か月

「月命日」集中捜索

東日本大震災の発生から4年3か月の「月命日」にあわせて、沿岸の被災地では警察による行方不明者の集中捜索が行われました。山田町では津波で破壊された堤防やガードレールの残骸など、今も震災の爪痕が残る浜川目地区で宮古警察署の署員22人が集中捜索を行いました。県によりますと東日本大震災による県内の犠牲者は先月末現在関連死を含めて5125人で、今も1129人の行方が分からないままです。(6/11 ニュースエコー)



東京発

復興事業費負担で要望

達増知事は宮城・福島の知事らと復興庁を訪れ、来年度以降の復興事業費について被災地の負担を軽くするよう竹下大臣に要望しました。



要望書では来年度以降の復興事業費の被災自治体による一部負担について、対象となる事業を見直し、沿岸と内陸を結ぶ復興支援道路や防潮堤の整備などについて、引き続き全額国の費用で対応するよう求めています。政府は6月末までに最終的な方針を決定することにしていて、要望がどの程度反映されるかが焦点となります。(6/11 ニュースエコー)

宮古発

JR山田線復旧工事

JR山田線宮古・釜石間の沿線自治体会議が開催され、宮古・釜石間の復旧に関し「全線一括」での開通を求めることにしました。この区間は復旧をJRが行い、三陸鉄道が運営を委託することで合意しています。JRは4年間で4つの区間を順次開通させる案を提示していました。沿線自治体は安全性や利用者の確保など、三鉄の経営への影響が懸念されるため、2018年度をめどに一日も早い「全線一括」での開通を求めることになりました。(6/12 ニュースエコー)



盛岡発

サクランボ狩り



宮古市の津軽石保育園児15人が盛岡の果樹園を訪れ、旬を迎えたサクランボの摘み取りを体験しました。盛岡市手代森の田屋果樹園では震災がおきた2011年以降、「子ども達が楽しめる場を与えたい」と、毎年この時期に津軽石保育所の園児をサクランボ狩りに招待しており、今年で5年目です。摘み取り方を教わった園児たちは、さっそく自分の背の高さほどの樹から器用に摘み取り、口の中をサクランボでいっぱいにしていました。

(6/16 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今日はFMねまらいんの及川透子さんが、大船渡市末崎町にある、「居場所ハウス」の新事業、子どもの一時的預かり『わらしっこ見守り隊』について伝えてくれました。保護者が様々な事情で面倒を見ることが出来ない児童を無料で預かり、子育てを支援するもので、対象者は末崎町在住の4歳から小学6年生までです。利用できる日時は、毎週土曜日と学校行事等による臨時休校日などで、時間は午前10時から午後4時までとのことです。(6/17)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122